

[訃報] 会田 吉之典 (あいだ きちのすけ) 先生

1992年から6年間、啓明学園理事を勤めてくださった会田吉之典先生が、6月29日(火)、70歳で亡くなりました。

会田先生は、都立高校教師をしながら法政大学経済学部を卒業された努力家で、筋の通らないことに我慢ができない方でした。あちこちに“喧嘩友達”があり、啓明学園でも激論を交わされていました。

田無市立田無第三中学校長(83・84年度)、バンコク日本人学校長(85年度~87年度)、社日本教育会事務局(89年度)、(株)東芝の海外子女教育相談室長(90年度~97年度)など、経歴も多彩です。ご冥福をお祈りします。

ロスアンゼルスの松本輝彦先生を囲む会

7月7日(水) 14:00~16:00

昨年の話題であったアメリカの移民法改正と「Preposition 227」制定について、一年を経てどう状況が変わってきているかを聞きました。邦人子女を取り巻く環境は、各州でかなり厳しくなっているようです。

今回は、「Social Promotion(同年齢の子はできるだけ一緒に進級させる)の禁止」が話題の中心になりました。とかく「アメリカでは小学校でも飛び級・落第が当たり前」というイメージを抱き易いのですが、実際には、そう多くはありません。人種差別撤廃運動とも絡み、Social Promotionは“正論”でした。しかし現在は、クリントン大統領(民主党員)までが「9歳の読解力で判断」(実質的に学力中心主義)を訴えるほどで、この法律も東部地域に広がっていく気配だそうです。

アメリカの教育改革の論理(ロジック)を知れば知るほど、日本の教育の先行きに不安を覚える会でした。啓明学園の使命を改めて考えさせられます。

9月からの留学生など、次々と決定

一学期の後半は、体験入学生の10名をはじめ多くのお客様がありました。お陰様で、皆満足して帰って行きました。

二学期には、留学生2名が高校2年学級に編入します。ドイツのマルクス・ヒッペ君(AYUSA留学生)とカナダのナディア・マチナさん(国際ロータリー留学生)です。学級の決定は、8月末の帰国生編入試験後。

9月14日には、スロバキア使節団17名(中学・高校生14名と引率3名)が来校、寮に3泊、ホームステイ10泊します。ちょうど文化祭の時期に当たりますので、「スロバキア展」を開いてもらう予定です(S205教室)。

恒例になりましたインドネシア教師一行(経団連企画)約20名の来校は、10月19日になりそうです。中間テストの1週間前ですから、特別の企画は組めません。普段着の交流に心掛けたいと思います。二学期も宜しく願います。

高校サッカー部が韓国に遠征！

部員20名と引率の北原校長・荒井先生は7月25日(日)に出発、翌26日(月)交流試合を行います。

中東高等学校は、韓国一のサッカー強豪校。中には、将来ワールドカップ出場を約束された選手もいて、こうした選手と姉妹校の交流ができるのは幸せです。また、二晩の宿泊は、中東校生の家庭にホームステイします。帰着は27日の予定です。

国立国語研究所 国際シンポジウム 第5専門部会

8月21日(土)10時～17時 於：国立国語研究所講堂

『学校教育における言語の教育と学習』

[同窓生来校紹介]ジパーラ・アブドゥラザーコアさん

1996年にキルギスタンから体験入学した4人の中の一人です。日本の大学で経営学を学ぶため、再び来日しました。今、大阪外語大学で日本語を特訓中です。3年前に比べて、テレビ番組が面白くない(?)と言っています。

ひと口ニュース News・News・News・News・News・

6月28日、シカゴ教師一行7名が来校。幼稚園・初等学校を視察。

6月29日、編入試験2名()。

6月30日、文部省主催 帰国子女教育研究協議会 <代々木青少年センター> / 豪**カンタベリー校** 校長夫妻が来校 / 初・中・高 合同研修会の打合せ。

7月3日、北泉寮を楽しむ会

7月6日、初等学校 水泳教室

7月8日、HISTEP 日米欧教師フォーラム<経団連会館>。(～8日)。

7月9日、水泳教室(中・高。～13日) / 塾教師対象の学校説明会。

7月16日、編入試験(初・中・高)。 7月17日、**終業式**。

7月18日、海外体験学習一行出発(米ポートランド。～8月8日)。

啓明学園 国際教育センター

〒196-0002 東京都昭島市拝島町5 11 15

TEL:042-541-1003 FAX:042-546-5881

Home Page(URL) <http://www.keimei.ac.jp>

E-mail Address:kubo@keimei.ac.jp
